

幼児の防空服装について

及川ふみ

幼児の防空服装については、近頃各方面で、それ／＼の研究を進められ、且つ實施もされてゐるやうである。

幼稚園での幼児の防空服装を考案する時には一般家庭の幼児の防空服装の上にさらに、幼児自身で着られるさいふ一つの條件が附け加へられなくてはならない。一人の保姆が三十人なり四十人なりの幼児に短時間中に防空服装に整へさせるさいふ事はなか／＼容易なことではない。幼児自身だけで防空服装を身につけられる様に工夫して作る事が必要條件であると思はれる。

幼稚園でこの春頃幼児の防空服を持參しておかれる様にしてみたが恰好のよきもの、子供らしく可愛いものなさいろ／＼あつたがさて實際防空訓練を實施して見るに、それ等のほきんぎが大人の手をかりなければ着られないものばかりであつた。その中に二三人の防空服は比較的簡單に幼児自身だけで着られて、防空服の目的も充たされてゐるのがあつたので、それを基として圖の様な幼児防空服を作つ

て見た。

尚成長盛りの幼児であるから防空服も年々小さくなつて度々用意するのはわづらはしい事であるから、三ヶ年間位は一つのもので間に合せられる様に大きい目に作つて肩あげをする事にした。

用布は本綿が最もよいのは云ふまでもない。ふきんの裏地、男物の裏地なごの古いもので、出来るだけ地味なもので、古いものゝ丈夫な箇所だけ擇んで作るによい。上下の色や柄も異つたものでよいのであるから大人物の古いものを厚生する事である。

帽子も出来るだけ地味なものがよい。美しい色や柄の帽子は平時のものであつて、防空のための帽子はなるべく目立たないもので、用布は絹や毛織をさけたい。

手袋は五本の指が一本々別々になつてゐるのは、幼児だけではなか／＼はめにくいから拇指以外の四本ミが二つに分れるだけの簡單なものにして置く。

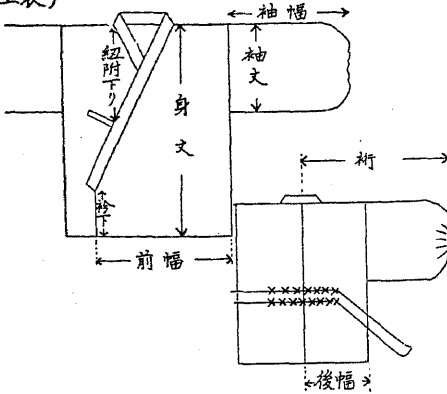
子供、防空服

(輕單位)

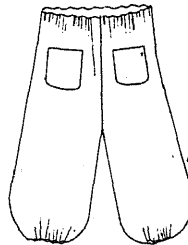
①

出来上り寸法

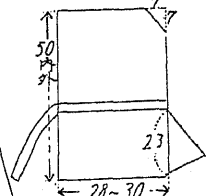
(上衣)



(下衣)



(帽子)



(手袋)



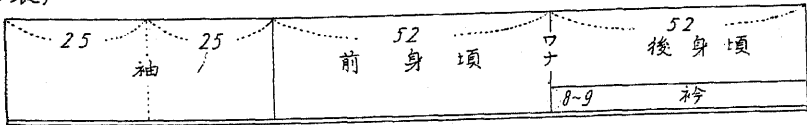
	寸法(仕上)		寸法(仕上)
袖丈	35 ~ 20	衿下	7 ~ 8
袖幅	25 ~ 23	衿肩明	6 (裁切)
身丈	55 ~ 50	衿幅	2.5
前幅	30	前後紐附	30 ~ 35
後幅	25	下衣丈	70

(註)

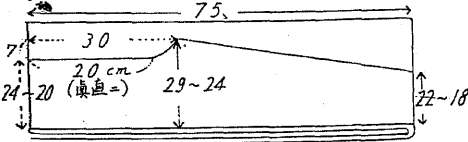
寸法ハ子供、身体ノ大小ニヨツテ
加減スル。衿ハ少シ長目ニ仕
上ケ肩揚ヲスルノモイ。

裁子方

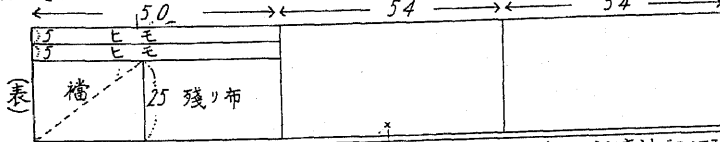
(上衣)



(中衣)



(帽子)



(裏) 布幅 = ヨリ此処カラ 紐幅ヲカキテ 裁ツ 經濟的デアリマス

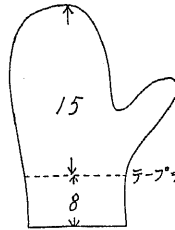
子供の手形ラウツシ型紙製作

縫代は0.5種類ツケル

襦裁方



小サフシキルト
手ガ入りマセン



縫ヒ方

(上衣)

- ① 袖下袋縫
- ② 袖口三折縫=シテゴムテープヲ通キヤウ=スル
- ③ 背縫袋縫
- ④ 肩當附
- ⑤ 衿下三ツ折

- ⑥ 衿附
- ⑦ 脇縫
- ⑧ 裾ノ仕立
- ⑨ 袖附
- ⑩ 紐附

- ⑪ 仕上げ
テープヲ袖口ニ入レル

* 以上和服同様ノ仕立方

(下衣)

- ① 臀當 膝當ヲ附ケル
- ② ポケットヲ縫ヒ附ケル
- ③ 股上ヲ縫フ
- ④ 股下ヲ縫フ(ホツレ易キモノハ股上股下共ニ袋縫=スル)

- ⑤ 脇縫
- ⑥ 裾口洞周リハ三ツ折=シテゴムテープヲ通スマウ
=縫フ。ゴムテープヲ裾口洞周リニ入レル
- ⑦ 仕上げ

(帽子)

- ① 裏ノ表ノ布ヲ合セ 裾ヲ縫ヒカクシ縫ヲスル
- ② 表ノ裏ノ裾ノツカナイ側ニ縫ヒ合セカクシ縫スル
- ③ 表側ニナル裾ヲ縫ヒ附ケル
- ④ 後中心ヲ縫ヒ合セル
- ⑤ 裏側ニナル裾ノ一方ノミ縫ヒ附ケル

- ⑥ 綿ヲ入レル引返シ口ハ裏襦附ノ裏ノ後
中心トシテアル 綿ノ厚ハ二枚位入レルバヨイ
- ⑦ 表ニ引返ス
- ⑧ 綴ジル
- ⑨ 紐附

(手袋)

縫ヒ方ハイロイアル 布ノ地質ニヨツテ選シテモヨイ



裏カヲ縫ヒ表ニ
カヘラタモノ



裁目ノママ或ハ
折ツテステナ
シクモノ



裁目ノママ或ハ
折ツテカケツク
モノ

- ① 裾ノ寸法イCMヲ幾い周圍ヲ縫フ
- ② 裾ノ入リ口コハ細ク裏ノ折リ糊ナドホブレヲ防キ 裾布ヲトビツケル

- ③ 裾口ハ三ツ折トスル
- ④ ゴムテープハ 稍伸シテツケル時又ハ「ゴム紐」ヲ
通ルヤツ 布ヲ附ケテ作ルヲモヨイ。

(註) ④ 以上ハ單ノ手袋ナルガ 地質ニヨツテハ 糸合ニシテモヨイ 縫ヒ方ハ 同様ニシテ
裾ヲ合セレルバヨイノデアアル